

ソフトバンクG不振

利上げで投資環境悪化

巨艦ファンドを率いるソフトバンクグループ(SBG)の孫正義氏に憧れ、投資の勉強を始めた会社員の順也さん。孫氏が決算記者会見の主役を降板すると聞いて驚き、金融機関で働くおじの健夫さんに尋ねた。

順也 何かあったの。

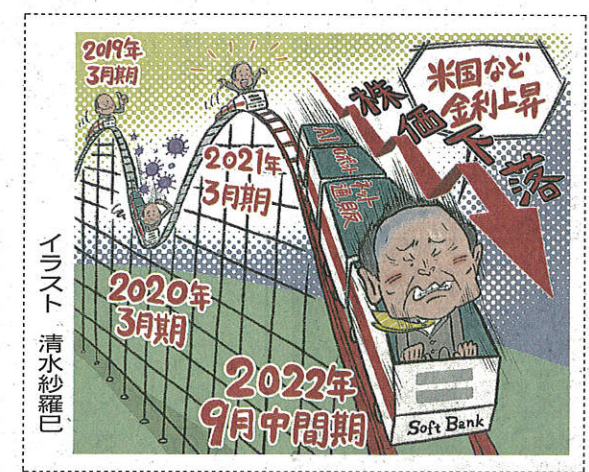
健夫 SBGの投資事業が不振に陥り、傘下の英半導体開発大手の運営に集中するためだそうだ。思い切った判断と強気な発言で鳴らしてきた孫さんにも、市場から厳しい視線が注がれるようになってい

経済やわらかゼミ

順也 不振ってどのくらい。

健夫 2022年9月中旬期の連結純損益は1290億円の赤字だった。これでも虎の子の中国IT大手アリババグループの保有株式を手放して補った結果で、4〜6月期では赤字が3兆円超に達していた。SBGは投資事業が中心の会社になっていて、出資先の株価が下落したため評価損が膨らんでいる。

孫氏一転「守り固める」



順也 そもそもは携帯電話の会社だった金利で運転資金を順調に調達できていた企業の経営が苦しくなっている。孫さんは優れた先端技術のタネや事業の将来性を見込んで投資したけど、歴史が浅く経営体力に乏しい企業が多いため、リストラや事業縮小、経営破綻が相次いでいるように思える。

順也 でも少し前にはSBGが日本一の利益を上げていたよね。

健夫 その通り。21年3月期は当時の世界的な株高を受け、5兆円近い黒字をたたき出した。その前の20年3月期は新型コロナウイルス禍などで約9600億円の赤字、さらにその前の19年3月期は約1兆4千億円の黒字と、毎年のように乱高下を繰り返している。

順也 まるでジェットコースターのように。

健夫 その時々市場動向に左右される投資会社としての性格が強まっている表れだね。孫さんは当面の投資環境を悲観的に見ているようで「守りを固める」と新規の投資を控える方針を表明している。順也も無駄遣いばかりせず家計の守りを固めたほうがいいぞ。

順也 おじさんはゴルフのスコアの乱高下を何とかしてよ。

コロナ5類引き下げへ岡山県内反応

飲食店、企業に光

マスク不要、濃厚接触者の出勤

県商工会議所連合会の松田久会長は「長引くコロナ禍で打撃を受けた飲食、観光をはじめ多くの企業で、コロナ以前へ復帰するきっかけになるもの」と歓迎したいとコメントした。

今回の方針転換では、屋内でのマスク着用の在り方に注目が集まる。不要になれば、接客をはじめ幅広い業種に光が差す。

岡山、倉敷市内で居酒屋を中心に8店を展開する日本S(S岡山市)の秋田智紀社長は、客が従業員にマスク着用を促されて機嫌を損ねるケースがあったとし、「居酒屋はコミュニケーションの場でもある。何も気にせず、食事しながら会話を楽しめる日常に戻ってきてほしい」と期待。タクシーや貸し切りバス、旅行業を手がける下電観光バス(同市)も「関連業界は厳しい状況が続いており、通常の生活に移ることはありがたい」とする。

社員やその家族が感染者や濃厚接触者となり、業務に支障をきたす企業も多いが、5類になれば解消する公算が大きい。菓子メーカーの白十字(同市)は、繁忙期の昨年末に工場や店舗で感染者が相次いだ。本社から県外店舗に応援を出すなど対応に追われたという。「濃厚接触者でも出勤できるよつになれば人繰りがしやすくなる」とする。

介護業「手放しで歓迎できず」

ただ、コロナ禍は3年に及び、現在も流行「第8波」が猛威を振るっているだけに慎重な声も聞こえる。

「手放しで歓迎できる状況ではない」と介護サービス・創心会(倉敷市)。県内で50代以上の感染者が多いことなどを理由に挙げる。スタッフのマスク着用の継続を視野に入れ、施設入所者と家族の面会の規制緩和も慎重に判断するという。老舗の旅館お多福(津山市)を営む竹内崇さんは「5類への引き下げは感染者数も少し落ち着いてきた頃で良いのではないかと話す」。

ホテルクランヴィア岡山(岡山市)はマスク着用に関する看板をロビーに掲げたり、宴会場に専門のスタッフを配置したりして利用者に協力を呼びかけている。「顧客の安心感につなげており、5類になってますますにマスク不要というわけにはいかないだろう。国はガイドラインなど詳細を固め、早急に公表してもらいたい」と注文する。

従業員の健康配慮を

醸造機械製造・フジワラテックノアート(岡山市)など岡山県内の5社・団体は20日、「岡山健康経営を考える会」を2月10日付で発足させると発表した。従業員健康づくりに配慮する健康経営の浸透を図り、職場企業の労働力確保や生産性向上を後押しする。

5社・団体は同社のほか、システム開発のセリオ、解体工事のコンケン、農業機械製造のニツカリ、一般財団法人・淳風会(いずれも同市)。県内の中小企業などに入会を呼びかけており、今月10日現在で他に15社・団体が参加予定という。

具体的な活動は、専門家を招いた先行事例の勉強会開催や情

「考える会」来月発足

報発信、健康経営推進の調決に向けた共同研究などを定。発足会議を2月10日に「国際交流センター(同市)」を決定。記念講演会もあわせて事務局の稲岡美穂代表(会執行役員)は「会員間でノウハウを共有しながら健康経営のモデルとして全国へ発信したい」と話している。

講演会は午後2時開始で京大大学院の中川恵一特任教授が「がん対策は経営課題」として話す。無料で定員70人4日までで淳風会(0866-261-2666)に申し込み(田村柚)

岡山の土井さん 農林水産大臣賞

本年度の岡山県花き共進会が20日、総社市であり、農林水産大臣賞にシクラメンを出品した土井典明さん(岡山市)が選ばれた。

全国有数の生産量を誇るスイートピーをはじめ、キンギョソウやトルコギキョウ、ラークスパー(チドリソウ)など159点が出品された。県や市場、JAの関係者らが花の色や形の美しさなどをチェックした。入賞作品は21、22日、大型商業施設アリオ倉敷(倉敷市寿町)の2階吹き抜けスペースで展示する。1回開催。スイートピーが



花の色合いや形などをチェックする審査員 (大河川)

国産赤シソのふりかけ

丸美屋食品工業(東京)は、ふりかけ「期間限定 国産赤シソの香り」を発売した。9月末までの限定。爽やかで香り高い風味が特徴の国産赤シソを100%使い、酸味強めの味に仕上げた。冷めても風味が残るため、弁当にもお薦めという。22g入りで希望小売価格は119円。問い合わせは通話無料のお客さま相談室(0120-038258)。



寝たまま運べる車シート

コンビは、赤ちゃんを寝かせたまま運べる車のチャイルドシート「THE S ZDシリーズ」を発売した。シート部分の着脱が簡単で、車内で眠った場合に起こさず家の中に連れて行ける。付属の台座で車以外の場所にも固定できる。希望小売価格は7万9200円から。問い合わせは同社コンシューマープラザ(048-797-1000)。



タルタル味ドンタコス

1秒で測れる体温計